

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会要項、競技注意事項および申し合わせ事項を適用する。ただし、競技規則第165条5は適用しない。

2 競技場使用について

- (1) ウォームアップは競技場周辺で行い、事故には十分気を付けること。なお砲丸投の練習は、事故防止のため競技場外では禁止する。フィールド種目については招集時刻を早く設定し、競技場内にて競技開始前の練習時間を確保することで対応することを原則とする。
- (2) 競技場及び補助陸上競技場は全天候舗装につき、スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし走高跳は12mm以内とし、スパイクピンの先端の直径は4mm以内でなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。
- (3) 更衣については、競技場内の男女更衣室を原則として雨天時のみ開放する。それ以外で使用を希望するものは、大会本部役員に申し出て許可を得るものとする。貴重品は各自で管理すること。
- (4) 救護室は本競技場内に設置する。

3 競技者の招集について

- (1) 招集所は競技場第4ゲート(100mスタート付近ゲート)付近に設置する。なお招集所に入場できるのは、招集を受ける選手のみとする。
- (2) 招集完了時刻は、その競技開始時刻を基準として以下のとおりとする。

	招集開始時刻	ナンバーカード等の確認時刻	招集完了時刻
トラック	30分前	20分前	15分前
走高跳・走幅跳	40分前	30分前	25分前
砲丸投	50分前	40分前	35分前
棒高跳	70分前	60分前	55分前

(3) 招集の手順

- ① 競技者または代理人は、出場種目の招集開始時刻より招集所に掲示した競技者一覧表の自分のナンバーを○で囲む。
 - ② 競技者は招集完了時刻5分前までに招集所に集合し点呼を受けること。その際、競技役員にナンバーカードとスパイク、衣類及び競技場内へ持ち込む物品等の確認を受けた後、競技役員の誘導に従って入場すること。携帯電話や通信機器及び音楽再生機器等は持ち込めない。
 - ③ 招集完了時刻に遅れた競技者については、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
 - ④ 四種競技出場者は、その日の最初の種目のみ招集所で(3)の①②に従い競技者係の点呼を受けるが、以後の種目に関してはフィールド競技は競技開始時刻の30分前まで、トラック競技は競技開始時刻の15分前までに競技の実施場所に集合し点呼を受けること。
- (4) リレーのオーダー用紙は、予選・決勝ともに招集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。怪我等による選手の交代は、招集完了時刻までに大会総務が任命した救護員の判断がない限り認められない。救護員の判断による変更は、出場選手の変更のみ認められ、編成(走る順番)の変更は認められない。また、招集完了時刻前であっても、一度提出した編成の変更(オーダー用紙の差し換え)は認められない。

- (5) 競技への出場を欠場(棄権)するときは、招集完了時刻5分前までに競技者の所属する中学校の監督が確認した旨を所定の用紙に記入し、競技者係に提出すること。なお用紙は招集所に用意する。

4 競技運営について

- (1) 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。ただし、男女四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし。その後不正スタートをした競技者は全て失格とする。
- (2) 本競技会において、競技規則第162条5は適用しない。スタート時における不適切行為(162条5a. b. c)発生時は、責任ある競技者に対し注意を与える。それでもなお、不適切行為に該当する行為により注意を受けた競技者については、当該種目において失格とすることがある。
- (3) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。
- (4) 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技について試技順はプログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の準決勝以降とフィールド競技の決勝については主催者が公平に抽選し、その結果を番組編成掲示板に掲示する。
- (5) レーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンを空ける。
- (6) 計時は、原則として電気計時(写真判定による1/1000秒)とする。
- (7) タイムにより次のラウンドの出場者を決めるときに同記録者があり、レーン数が不足するときの処置は、写真判定主任が同記録者の写真を拡大して、より細かく優劣を判定して進出者を決める。それでも決められない場合は、本人もしくは監督による抽選とする。
- (8) リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいてもその競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場できる。ただし、どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも2人は、リレーに申し込んだ競技者でなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して2人以内に限り他の競技者と交代することができる。この規則に従わなければ、競技規則によりチームは失格となる。
- (9) リレー競技においては、その学校の同一ユニフォームを着用すること。
- (10) リレー競技のマーカ使用については競技規則を適用し、大きさが50mm×400mm以内の粘着性のテープ1カ所の使用を認める。マーカは各校で用意し、使用後はそのチームで処理すること。
- (11) 短距離種目では、事故防止のためフィニッシュライン到着後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (12) 男子3000m決勝はグループスタートとする。危険防止のため、第2グループのスタートラインから10mは代用縁石を置かない。
- (13) 競技場内での競技前の跳躍と投てき練習は、競技役員の指示によって行うこと。
- (14) 走幅跳は2つの平行するピットで2組に分かれて決勝を開始する。
- (15) 審判長がやむを得ないと判断した場合は、フィールド競技について試技順を変更することができる。
- (16) 競技者は、その競技をするとき以外はトラックおよびフィールドに立ち入ることができない。
- (17) 競技者に対する助力については、競技規則第144条を適用する。フィールド競技については、コーチングエリアを設ける。その利用は、監督及び指導者が競技者とのコミュニケーションをとる場合のみとするので、エリア内に常駐しないこと。
- (18) 抗議は、競技規則によって定められた時間内に各中学校の監督者が行うこと。なお抗議受付窓口は競技場大会本部に設けるので、係員に申し出ること。この裁定に不服の場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通じて審判長に文書で申し出ること。

5 競技場の入退場について

- (1) 競技者の入退場は、すべて競技役員の誘導による。
- (2) リレー走者の一部を除き、走り終わった競技者はフィニッシュ側後方ゲートより退場すること。
- (3) フィールド競技の競技者は、競技役員の指示に従って退場すること。

6 ナンバーカードについて

- (1)男子は白地に黒文字、女子は白地に赤文字とする。腰ナンバー標識は白地に黒文字とする。
- (2)ナンバーカードは一人に2枚配布する。ナンバーカードは配布されたままの大きさと、ユニフォームの胸と背にはっきりと見えるように付けること。なお跳躍種目の競技者は、胸部または背部に付けるだけでよい。
- (3)トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識をランニングパンツ右側の上部やや後方につけること。腰ナンバー標識は粘着性のものを競技者係が配布する。使用後は、各自で廃棄すること。

7 走高跳・棒高跳におけるバーのあげ方について

種目	性別	練習	競技
走高跳	男子	1m55	1m60-1m65-1m70-1m73-1m76-1m79-1m82-1m85-1m88
	女子	1m30	1m35-1m40-1m45-1m48-1m51-1m54-1m57-1m60
棒高跳	男子	2m60	2m80-3m00-3m10-3m20-3m30-3m40-3m50-3m60
四種競技	男子	1m45	1m50-1m55-1m60-1m65-1m70-1m73-1m76-1m79
走高跳	女子	1m20	1m25-1m30-1m35-1m40-1m45-1m48-1m51-1m54

- (1)走高跳及び棒高跳での上記以後の高さは、最後の一人になり優勝が決まるまでは走高跳は3cm、棒高跳は10cmきざみとする。
- (2)第1位を決めるためのバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cmきざみとする。
- (3)棒高跳の支柱移動申請書は提出しない。競技開始前に跳躍場にて競技役員に直接申し出ること。

8 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用すること。ただし、棒高跳用ポールに限り、個人所有のものを使用することができる。個人所有のポールは競技場所で競技役員から検査を受け、合格したものに限り。

9 表彰について

- (1)各種目の表彰は決勝終了後、準備が整い次第直ちに行う。8位までの入賞者は、係員の指示にしたがいメインスタンド中央下の表彰者控え席にて待機すること。ただし四種競技の入賞者は、総合成績発表後直ちに表彰者控え席に集合すること。
- (2)各種目の8位(リレーは3位)までの入賞者に賞状を授与する。リレーは優勝チームの決勝出場者4名全員に賞状を授与する。
- (3)優勝者には、(2)に加えて日本陸上競技連盟のバッジを授与する。
- (4)オープン種目の男女低学年4×100mRと女子1年1500mについては、6位まで賞状を授与する。
男女低学年4×100mRはリレーは、優勝チームの決勝出場者4名全員に賞状を授与する。
- (5)2日目の次の種目の表彰は、原則としてリレー終了後に行う。
共通女子100mH、共通男子110mH、共通男女200m、共通男女四種競技

10 商標について

- (1) 競技場内に商標名の付いた衣類、バッグ等を持ち込む場合、以下の規定を守ること。
- ① 上半身の衣類…製造会社のロゴ：大きさは四角形の面積 30 cm^2 以内、文字は縦 4 cm 以内、ロゴ全体で縦 5 cm 以内とする。製造会社の表示は1カ所のみとする。ただし、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケットの製造会社名／ロゴ面積は 40 cm^2 以内とする。
 - ② 下半身の衣類…製造会社のロゴ：大きさは四角形の面積 20 cm^2 以内、文字は縦 4 cm 以内のものを1ヶ所とする。
 - ③ バッグ…製造会社のロゴは2カ所に取り付けることができる。それぞれの面積は、 25 cm^2 以内のものとする。
- (2) 競技役員から指摘された場合はその指示に従うこと。
- (3) 詳細については、「競技会における広告および展示物に関する規程」を参照すること。

11 諸式について

競技一日目の9：45より開始式を行う。選手は各スタンドに着座して参加すること。
閉会式は行わない。参加校は、表彰が終わり次第解散してかまわない。

12 その他

- (1) テントは地区ごとに、割り当てられた場所に設置する（プログラム参照）。メインスタンド内に日除け用にテント類を設置することはできない。なお、テントは縦に張るなど周囲に配慮すること。

第1－第2コーナー間	大館北秋田・能代市・山本郡
第2－第3コーナー間	大曲仙北・横手市・湯沢雄勝・男鹿潟上南秋田・本荘由利
第3－第4コーナー間（3～）	秋田市
第3－第4コーナー間（4～）	鹿角

設置する際にはロープを通路手すりにつなぐなど、通行の妨げとなることのないよう注意すること。
運動公園内の芝生等へのテントの設置は可能であるが、ペグの撤収等に配慮すること。

- (2) 横断幕・のぼりの設置場所は、メイン・サイド・バックスタンドとも、最上段の手すり、またはフェンスとする。設置の際は通行の妨げにならないよう十分配慮すること。
- (3) 選手の健康管理と事故防止には十分配慮すること。
- (4) 場内でのマナーに関して、各校で指導を徹底すること。
- ① 本部前、メインスタンド下の通路は、関係者以外立ち入り禁止とする。
 - ② 選手の付き添いは、競技場内へは立ち入りを認めない。
 - ③ トラック種目においては競技種目並びに出場選手紹介のアナウンスがあり次第、フィールド種目においては試技を開始しようとしている競技者がいる場合、応援を自粛する。
 - ④ メインスタンド内において、出入り口付近、通路、最前列の手すり付近に立って応援することは禁止する。またサイド・バックスタンドから競技場内に降りての応援も厳に慎む。競技進行の妨げになるような応援は慎むこと。
- (5) 競技場内に降りての写真撮影(卒業アルバム用も含む)は、大会本部に申し出て許可を得た場合以外は禁止する。撮影者は、許可を得ていることが明確にわかるような証を身に付けること。

- (6) ゴミは各校持ち帰りを原則とするが、事情に応じて配慮する。なおゴミ袋は大会本部に準備する。
各校の清掃割り当ては以下のように定める。各地区で清掃箇所を分担し、全参加校とも協力すること。

21日(土)	中央地区…スタンド 県南地区…競技場外周
22日(日)	県北地区

- (7) 本競技場の練習時間は、以下の通りとする。

- (8) 本競技場の練習レーン区分は、プログラムの本競技場練習会場区割を参照すること。

20日(金)	10:00～16:30 (用器具の使用は16:00まで)
21日(土)	7:30～9:20 競技終了後～17:30 (用器具の使用は17:00まで)
22日(日)	7:30～9:10

なお、競技2日目の朝は、本競技場のハードル練習レーンを増設する。

- (9) ナンバーカード、プログラムの配布は以下の通り行う。

20日(金)	14:00～	競技場内会議室
21日(土)	7:30～	〃
22日(日)	7:30～	〃

- (10) プログラムの訂正は、本部にある訂正用紙を用いて大会本部に申し出ること。

20日(金)	14:00～17:00
21日(土)	7:30～9:00
22日(日)	7:30～9:00

- (11) 全国大会の申し込みは、出場権獲得者の当該校の監督または引率者が本大会期間中に責任をもって行うこと。競技2日目の競技終了後、出場校監督の打ち合わせを競技場内役員室で行う。

- (12) リレー監察の協力

第2コーナー（第一走者から第二走者）大館北秋田・能代市・山本郡・秋田市

第3コーナー（第二走者から第三走者）大曲仙北・横手市・湯沢雄勝

第4コーナー（第三走者から第四走者）鹿角・男鹿潟上南秋田・本荘由利

13 会議・打ち合わせ

	21日(土)	22日(日)	場 所
専門委員長会議	8:00	8:00	役員室
監督会議	8:30	8:30	正面スタンド前
全国大会監督打合せ		競技終了後	役員室